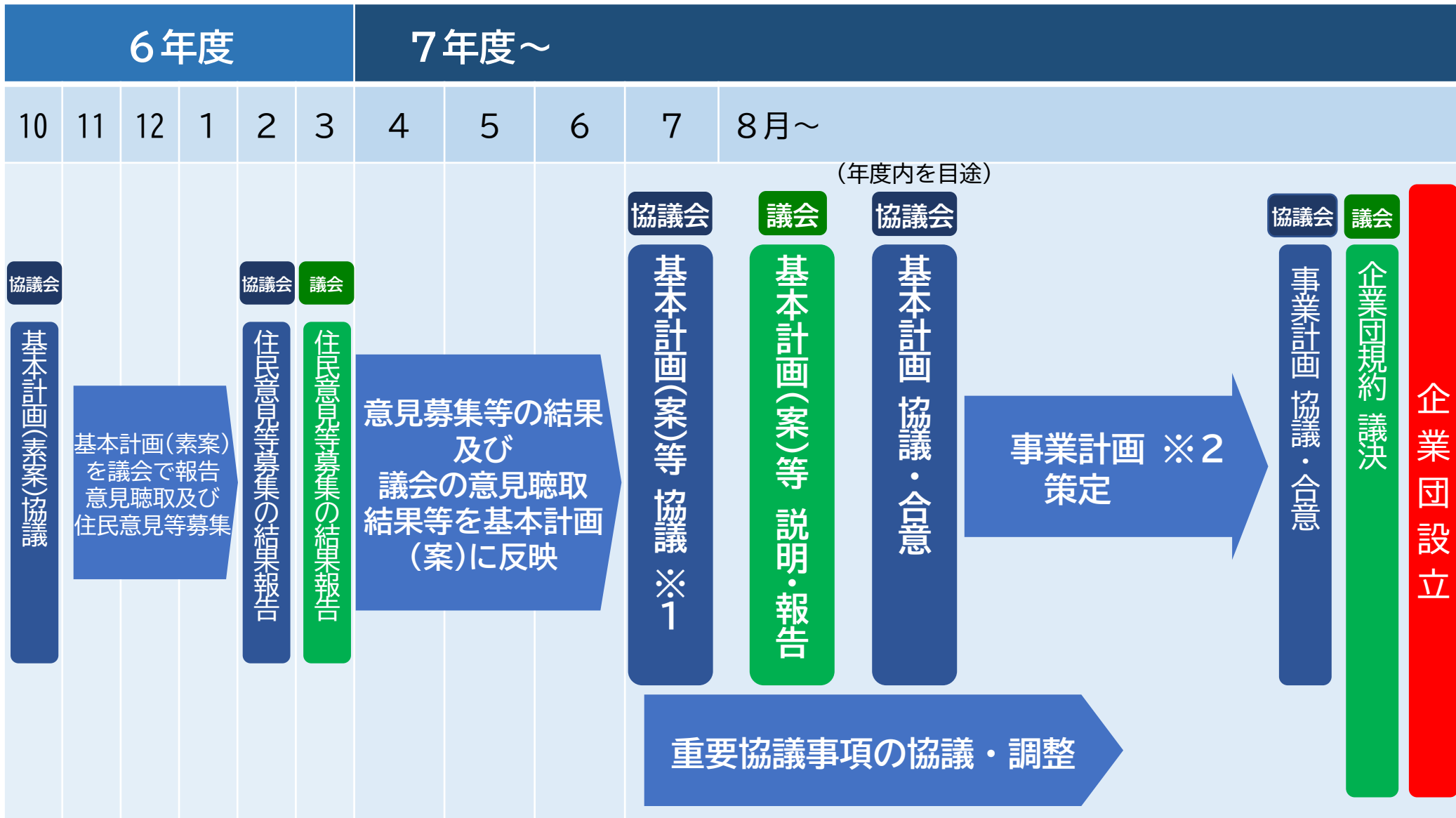


今後の協議スケジュール(案)



※1 基本計画…基本の方針や事項をまとめ、今後更なる検討を進める上で指針とするもの

※2 事業計画…住民や議会からのご意見に応え、組織体制や財政運営など具体的な事業内容を定めることを想定



重要協議事項について

◆重要協議事項とは

基本計画や事業計画の合意(決定)、住民や議会の理解を得るために、優先的に協議・検討を行う事項

◆これまでの検討で整理された重要協議事項

- 1 企業団のあり方
- 2 地域全体にとっての最適な施設整備計画
- 3 構成団体ごとの財源負担

1 企業団のあり方

主な協議事項（論点）

協議する内容

(1) 上田長野地域で事業統合を協議する理由・必要性

・ 住民や議会からの、上田長野地域で検討する理由や効果・協議未参加の他町村との広域化などの質問に対応するため、協議する理由や必要性を再確認し、わかりやすく示す。

(2) 企業団設立後の構成団体のあり方

・ 企業団の円滑な事業運営のために県を含めた構成団体のあり方を整理する。

(3) 企業団議会における議員定数や各構成団体の選出割合

・ 議員定数や各構成団体の選出割合について、先進事例も参考にしながら、決定方法を検討し各議会に示す。

2 地域全体にとっての最適な施設整備計画

主な協議事項（論点）	協議する内容
(1) 整備計画のコンセプト再確認と最適化 施設・管路の廃止やダウンサイジング、 管路二重化の必要性・有効性の整理など (2) 補助対象事業の精査 (3) 効率的な事業実施に向けたデザイン ビルド・官民連携の導入検討 デザインビルド(DB) 設計と施工を一括して発注する手法。受発注者の業務 効率化および工期短縮が図られる。	意見等募集結果や国交省との事前相談、近年の建設コスト上昇等も踏まえ、整備計画の施工期間や財政負担を考慮しながら、補助対象事業や事業量等を再検討して最適化する。
(4) 地域の整備状況を考慮した施設整備のあり方	上記の検討により最適化した施設整備費を現在の計画と同じように耐震化率等の地域の整備状況を踏まえて配分し、住民や議会にわかりやすく示す。

3 構成団体ごとの財源負担

主な協議事項（論点）

(1) 各構成団体の出資割合などの考え方

出資割合

広域化に伴う施設整備事業の財源として、各構成団体が一般会計から拠出する出資金の割合

協議する内容

- ・施設整備にかかる各構成団体の出資割合等を財政部局と調整する上で、考え方やルールを整理する。

※1～3の重要協議事項と並行して、基本計画や施設整備計画などの位置付けや手続きについて、各構成団体で共通認識を持つとともに、住民や議会の理解を得ながら、スケジュール感を持って協議を進める。